

横手市

社協だより

No. 24
2012.3.31

みんながつくる みんなの福祉

横手市社会福祉協議会



これからも健やかに過ごせますように

～十文字福祉センターデイサービスでひな祭りを開催～

RISING SUN AGAIN!

平成二十四年三月十一日、太平洋側を中心に甚大な被害を及ぼした「東日本大震災」から一年が経過しました。現在も、現地では復旧・復興に向けた活動が進められているほか、様々な問題もあるなど、まだまだ先が見えない状況です。しかし、この一年を振り返ってみると、着実に前へと進んだ軌跡があります。そして、その軌跡には人や地域、機関・団体等の「紡ぎあい」がありました。

紡ぎ

つむぎ



写真上：当市内への避難者を対象とした交流会にて（散髪ボランティアの様子
第2回交流会：H23.11.3 旭ふれあい館）

写真下：大船渡市大豆沢仮設住宅団地のみなさんと、山内いもの生産者・ボランティアとの
交流会にて（H23.11.19 現地公民館）

岩手県大船渡市
大豆沢仮設住宅団地代表
村上 勝弘さん



現在の仮設住宅へ入ってから半年が過ぎ、仮設での生活もだいぶ安定してきましたが、一方で、高台への移転計画が進まず、今後の生活に対して不安もあります。

また、地域も復興しつつありますが、品不足や物価の高騰が続いており、漁業の町にあって水や発泡スチロールの確保に苦慮していますし、海中のガレキの片づけも進んでおらず、本格的な漁業の復興はこれからになりそうです。

そのため、仕事を求めて若い人たちの流出が続いており、地域の高齢化が進むなどの不安も感じています。

今年の三月十一日で一年となり、一段落といった感じがします。この一年間、たくさんの方々に来ていただきましたが、一方的に支援を受けるのではなく、自分たちもおもてなしをするなど、双方向のつながりを大事にしています。

人との出会いや縁、交流、付き合い、そのようなことを大切に感じた一年でした。

ご協力いただいたお三方、ありがとうございました

あの日から1年…被災された方々のいま

福島県相馬市（現横手市内在住）
齊藤 淑子さん

震災直後の三月十六日、福島県相馬市から両親たち家族七名で、父親の知り合いのつてをたどり横手市に避難してきました。

六月頃には両親や夫たちは仕事の関係などにより地元に戻り、今は子供との二人暮らしで、夫は二週間に一回こちらにきています。

横手市での生活も一年になりましたが、今大事にしていることは子供を外で遊ばせることです。今の地元では、子供が外で遊ぶことはできませんが、こちらでは、外に出て土や雪など、自然の中で思いっきり遊ぶことができます。震災後は、この普通のことですが、とても大切なことだったんだと感じるようになりました。

また、他の避難されている方の中には、地域に慣れずに帰る人もいますが、私の住む地域の方々はみんな優しく接してくれる方ばかりで、本当に生活の支えとなっています。



淑子さん(写真右)と一君(写真左)



・市やNPO、ボランティアと連携し、市内避難者を招いて交流会を2回開催しました。ブラボー中谷さんも協力！



・休日にボランティアの一員として現地で活動してきました。今でも職員個々による活動は続いています

社協の支援

横手市社協では、大船渡市災害ボランティアセンターへの職員派遣や、休日にボランティアの一員として活動したほか、市内機関・団体等との連携により市内に避難されている方々への支援も行ってきました。
様々な活動の中で、人や機関・団体等の結びつきが必要であることを改めて感じた一年でした。



・全国各地の社協職員と現地災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。社協の「絆」も強固になった瞬間



・震災1ヵ月後、「やらねばね！横手」の一員として、現地避難所(小学校)での炊き出し活動にも参加



マップを作成しながら、地域のつながりを確認

「住民支えあいマップ」
家から出られない、情報が伝わらない、避難場所がわからない…。地域には、自力での避難が難しい方もおり、災害直後は、隣近所の支えあいが必要不可欠になります。
実際に、今回の震災や阪神大震災の際も、隣近所の支えあいが命を救ったケースがたくさんありました。
社会福祉協議会では、市との協力により、災害時の避難支援や日常の生活支援のため、各町内での「住民支えあいマップ」づくりを進めています。

あつてほしくない「災害」。しかし、今回のように突然訪れることもあります。もし災害が起こったら：災害に対する備えは家庭内だけのものではなく、地域での備えも必要だと考えており社会福祉協議会では次の事業を進めています。

あの日から1年…これからの地域づくり



現地災害ボランティアセンターの様子

また、今回の震災では、センターを運営する職員自身も被災したこともあり、当会職員だけではなく、今後は各機関・団体との情報共有や、運営スタッフの登録など、一般的な想定に捉われない準備を進めていきます。

「災害ボランティアセンター運営マニュアル」
一刻も早い復旧・復興のため、一般的に災害時のボランティア受け入れは三日以内と言われており、事前の取り決めや準備が必要になります。
現在、全県の社会福祉協議会にて、災害ボランティアセンターの運営についての見直しやマニュアルの新作成が進められています。また、当会においても、センターでの従事経験のある職員、災害ボランティアコーディネーター等により運営マニュアルの作成を進めています。

昨年3月の震災発生から、多くの方々、機関・団体等が協力しながら、現地や自分が住む地域で支援を行ってきました。そして、私たちの住む横手市では震災直後の不安な生活の中、家庭内、地域内で助けあいながら生活していました。あれから1年。この間に様々な「支えあい」の形を見てきました。そして、「支えあい」の必要性を感じてきました。今も震災前の生活に戻れず支援を必要としている地域や人がいます。また、私たちが住む地域でも災害時や普段の生活で支援を必要としている人がいます。
一人ひとりの力を「紡ぎあい」ながら、これからの支援、これからの地域づくりを考えていきたいと思ひます。

～在宅介護のワンポイントアドバイス～ かいご教室

昨年7月から今年3月にかけて毎月1回、計9回
かいご教室を開催しました。講座には、今後のた
めに知識を得たい方や在宅で介護されている方
などが参加し、介護食のつくり方や在宅介護のワ
ンポイントアドバイス、訪問入浴サービスなど
について学びました。

講座を通し、「介護認定の申請から、認定結果が
出るまでの仕組みや流れがわかった」「入浴する
ことの大切さを学ぶことができ、参考になった」「オ
ムツ交換や車いすからベッドへ楽に移乗するコツ
がわかった」「自分と同じ境遇の人と話すことが
できて良かった」など具体的で多彩な講座内容に
ご好評をいただきました。

かいご教室は来年度も開催予定です。詳しい
日程や内容については後日チラシ等でお知らせ
いたしますのでお気軽に最寄りの福祉センター
へお申込ください。



最新の福祉用具や施設で提供される
介護食の作り方に興味津々

～除雪ボランティア～ スノー暖歩（ダンブ）隊出動！（山内）

昨年の豪雪をも凌ぐような大雪に見舞われた山内地域で
は、1月21日と2月11日、活動開始から4年目を迎える山内中
学校生徒有志による「スノー暖歩隊」が出動いたしました。

単身高齢者等のお宅の軒下や玄関周辺の硬い雪をスコップ
で崩し、スノーダンブで排雪作業を行いました。

高齢者からは「毎日、雪かきが大変で、本当に助かった。」「子
供たちの馬力のよさに、元気をもら
った。」との声が、また参加した
生徒さんからは「雪が硬くて、大変
だったけど地域のお年寄りの役に立てて嬉しかった。」「最初は大変だったけど、雪が
減っていくほどに達成感があった。」などの感想がありました。

次代を担う中学生の「やる気」と地域住民の「絆」で豪雪にも負けないという力強さ
を感じました。



除雪ボランティア活動にはスノー暖歩隊のほか、民生児童委
員、福祉協力員、市職員組合の方々にご協力いただきました

豆まき 節分 いい気分（横手）

2月3日に、康寿館で節分の豆まきを行いました。まずは紙で「豆」作り
…。できた!と思ったら、どこからか赤鬼・青鬼がやってきましたみんなを脅かし
始めました。

そこへ、福の国からやってきた「福子さん」が登場し、ご利用者も一緒に
鬼めがけて「え〜い!!鬼は外!福は内!!と豆をまきました。鬼退治の後は、本
当の「豆」をいただきながら、これからも「マメ」で元気な生活を祈りました。

今年も皆様に幸せが訪れますように。



「福」と一緒に鬼退治!

ボランティアによる餅つきとカラオケ交流会（大雄）



毎年楽しみにされており、今回も各催しに行列ができました

12月11日にボランティア幸和が障害者・知的障害児支援施設秋田県阿桜園に訪問し、「餅つき」と「カラオケ交流会」を実施しました。園の方々は、餅つきやカラオケを楽しみ、みんなでついた餅の料理を一緒に食べました。

最後には「また来年も来てください」との感謝の言葉と、後日、お礼の手紙をいただきました。

この活動は阿桜園が開設されてから毎年開催していますが、ボランティア幸和が組織される以前から有志で活動されており、社会福祉協議会も協力しています。

地域の話題 ★

十文字 横手市十文字地域老連「清拭タオル」の寄贈

横手市十文字地域老人クラブ連合会では、「自分たちがこれまで支えられ、これからもお世話になる横手市に少しでも恩返しをしたい」との思いを込めて女性会員がボランティア活動として、清拭タオルの作成を行っています。

平成23年度は延べ250枚の清拭タオルが作成され、特別養護老人ホーム白寿苑、十文字福祉センター通所介護事業所にそれぞれ寄贈されました。

今後も、市内の各施設・事業所へ感謝の気持ちを込めて、引き続き活動を行っていくとのことです。



3月9日に各施設・事業所へお届けしました

大森 同じ「想い」で地域を支える

大森福祉センター福祉協力員会では、閉じこもりがちな冬期間に高齢者同士の交流を深めようと、単身高齢者と高齢者世帯を対象にした昼食会を4地区で開催しています。

たくさんの方に参加してもらおうと、福祉協力員・民生児童委員・婦人会が連携し、高齢者のお宅の見守り・声かけをしながら参加を呼び掛けるほか、当日の送迎や昼食会の進行、手作りのお吸い物の提供、さらには歌や踊りの披露など、参加された方を毎年楽しませてくれています。婦会のみなさんは、少しでも多くの方が参加してもらうために様々な企画を提案し、また、その企画を考えるのが楽しみと語ってくださいました。

それぞれ立場は違いますが、「地域をよくしたい」との同じ想いから一緒に活動することも多く、地域を支える担い手として活躍しています。



催し物も福祉協力員・民生児童委員・婦人会みんなで

Pick Up!!

わたしの社協

人との絆・地域との絆を大切に 横手市特別養護老人ホーム雄水苑



雄水苑で看護職員をしている柿崎弥生です。私がいる雄水苑は、指定管理を受けてから5年目を迎えましたが、ご利用者様の介護だけではなく、社協の特性を活かしながら、地域の一員として、ご家族や地域との絆を大切にし、地域に開かれた施設をめざしています。

「私が入りたい施設づくり」

そのために、職員研修等による看護・介護の質の向上はもちろん、直接、看護・介護サービスでは補いきれない、個々の「楽しみ」や「生活の質の向上」をめざし、多くのボランティアや地域の皆様より様々な形でご協力いただいています。これからも、笑顔咲く丘「雄水苑」で、ご利用者、そして地域の皆様との絆を大切にしていきたいと思えます。



事業所名／横手市特別養護老人ホーム雄水苑
(短期入所生活施設含む)
所在地／横手市雄物川町今宿字末館50番地
電話／22-4561
FAX／22-3607
入所定員／特養80床 短期入所8床



地域の方のご厚意により柿もぎへ、その柿をご利用者と一緒に干し柿にしました

ふくしり柳



横の手を

つないでます(づ)く

我が横手

「未来」をテーマに、たくさんのご応募を頂きました。寄せられた作品の中から数点ご紹介させていただきます。(順不同)

- 一. つまずきも 挫折も未来の 預金箱
佐藤静子さん(平鹿)
- 一. 米寿過ぎ 未来にたくし 夢を持つ
大類アヤ子さん(増田)
- 一. 地域の和 絆でつながり 未来あり
小野寺千寿子さん(増田)

〜ご応募を頂き、誠にありがとうございます〜

◎次号のテーマ「仲間」

同じ趣味の友人や今は遠くにいる同級生など、「仲間」をテーマにした川柳を募集します。

募集要項

応募資格 市内在住の方ならどなたでも

応募方法 作品(お一人様二点まで)、氏名、連絡先可能な範囲で(ご記入の上、ハガキやFAX、メールなど)ご応募ください。

(様式は問いません)。なお、応募作品は返却いたしませんので、ご了承ください。また締切は五月一日(火)です。

応募先 横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課「ふくしり柳係」

〒013-0072 横手市卸町五〇

FAX: 三六〇-五三八八

e-mail: tiki@yokote-shakyo.jp

広報掲載 寄せられた作品の中から数点を選考させていただきます、作品、氏名等を掲載いたします。

その他 募集川柳は原則五・七・五音とします。ただし、多少の字余りや字足らずは構いません。

〜皆様からのご応募をお待ちしています〜

お知らせ掲示板

平成24年度「父ちゃんの楽校」参加者募集!

平成24年度「父ちゃんの楽校」の参加者を募集します。なお、参加者は登録制となりますので、基本的に年間を通じた活動となります。

◆父ちゃんの楽校とは?

退職世代やシニア世代等を対象に、生きがいづくりや特技・趣味を活かした地域貢献活動などにより、第2の人生を有意義に過ごしていただこうと実施している事業です。

◆内容は?

参加者の企画による趣味講座とその知識を活かした地域貢献活動など

※これまでの活動内容

- ・料理教室 (そば打ち、横手やきそば、豆腐、季節のデザートなど)
- ・工作教室 (しめ飾り、ふすま貼り、流木アート、布ぞうりなど)
- ・その他 (写真撮影教室、福祉事業への参加・協力など)

【募集要項】

- ◎対象者 市内に在住する方 (現役世代や女性の方でも参加可)
- ◎開催頻度 講座は年間3~4回 (1回あたり2~3日程度開催)
- ◎年会費 1,000円 (事務費、保険料等として) ※講座等開催の都度、別途参加費をいただきます。
- ◎申し込み 横手市社協本部または最寄りの福祉センターまで電話にてお申し込みください。

(住所、氏名、連絡先等をお聞かせください)

なお、募集は年間を通して随時受付いたしますが、開校式及び第1回目は5~6月頃に開催いたします。

※内容の詳細等についても、遠慮なくお問い合わせください。



しめ飾り教室

善意

ありがとうございました

(平成23年12月1日~平成24年2月29日受付分)

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、お住まいの地域の横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

【横手福祉センター受付】

- 清水川 吉雄様 (山内)
- 平鹿総合病院様
- 久米 力様 (三枚橋)
- 厚木市雪まつり訪問団様
- 後藤 隆吉様 (幸町)
- 村上 陸様 (末広町)
- 安藤 詔子様 (上真山)
- 赤川 裕子様 (新北)
- 佐々木 妙子様 (新栄町)
- 黒崎 由紀様 (淀)
- 佐々木 有紀様 (末広町)
- 齋藤 フミ様 (新町)
- 横手市連合婦人会様
- 佐藤 良子様 (南町)
- とっぴんぱらりのプー様
- 小田嶋 富之助様 (朝倉町)
- 朝友会様

【平鹿福祉センター受付】

- よねや浅舞支店様
- 平塚 繁様 (馬鞍)
- 藤原 登志様 (年子狐)
- 齋藤 齊様 (新町)
- (社)馬鞍愛郷社様
- 醍醐婦人会様
- 武内 良悦様 (林崎)

【雄物川福祉センター受付】

- 雄物川町謡同好会様
- 雄物川相撲甚句声友会様
- ブルーサルビア様
- 館合保育所園児様
- 萌芽笑天様
- 大雄太鼓様

- 坪井 幸子様 (新丁)
- 小西 良子様 (上桑木)
- 黒政 総作様 (中島)
- 藤田 勉様 (石塚東)

【十文字福祉センター受付】

- (株)リーディングカンパニー様

【増田福祉センター受付】

- やすらぎ納税組合様
- 石川 栄治様 (真人)
- 関 ツヨ様 (中村)
- 高橋 誠様 (田町)

【山内福祉センター受付】

- 演歌クラブ様
- 扇の会様
- 中野 東一様 (下南郷)
- 永沢 松雄様 (板井沢)

【大雄福祉センター受付】

- 藤谷 久一様 (乗阿瓦)
- 鈴木 康和様 (精兵村)
- 信太 新一様 (四津屋)
- 加藤 周一様 (八柏)
- 大雄中学校生徒会様

【大森福祉センター受付】

- 鈴木 典男様 (上村)

【平寿苑受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- 平鹿町すみれコーラス様
- 平鹿町理容組合様
- 横手ユネスコ協会様
- JA秋田ふるさと健康推進協議会平鹿支部・同会女性部平鹿支部様

【憩寿園受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- 三重保育所様
- 資生堂販売(株)東北支社 秋田オフィス様
- (社)横手法人会 女性部会様
- 東北聖書バプテスト十文字協会婦人会様
- 鈴木 司様 (西上町)
- 伊藤 次郎様 (梨木)
- 佐藤 敦子様 (本町)
- フリーフォーラムクラブ様
- 植田小学校児童会様

【雄水苑受付】


- (福)育電会樽見内保育園様
- だべ〜るの会様
- 亀谷 くに子様 (横手)
- 雄物川民謡同好会様
- 傾聴ボランティア様
- 尾形 雅子様 (横手)
- イオンスーパーセンター横手南店様
- 佐々木 幸一郎様 (大森)
- 雄物川町理容組合様
- おものがわ町きのご生産婦人研究会様
- 雄物川町農産物直売の会様
- 黒政 総作様 (中島)
- 柿崎 イチ様 (平鹿)
- 下村 蔵之助様 (沼館)
- 横手ユネスコ協会様
- (有)小西商会様



2月4日、JA秋田ふるさと健康推進協議会平鹿支部・同会女性部平鹿支部より、チャリティーイベントの収益金とお米約50kgをご寄贈いただきました。



2月24日、大雄中学校より車いすを4台ご寄贈いただきました。



ふくしな 人たぢ

小さな積み重ねが
大きな“力”に

「体の不自由な人のために貢献できるようににかしたい」「地域の人に喜んでもらえることがしたい」…そんな思いからアルミ缶回収活動に取り組んでいる雄物川北小学校ボランティア



雄物川北小学校 ボランティア委員会

ア委員会の皆さん。校内での回収には、チームに分かれて集めたり、バザー形式にしてアルミ缶と品物を交換したりするなどの工夫もしています。また、地域の方々の協力も得ることで、平成23年度は525kgものアルミ缶を集めました。そして集まった収益を車イスに換え、雄水苑と雄風荘に寄贈していただきました。

「一人ではできないことでも、みんなに協力してもらうことでできる」

一人ひとりの力の積み重ねによって大きな力となり、今後もアルミ缶回収を中心に活動しながら、新しい企画などにも挑戦していきます。

ホームページを開設しました

<http://www.yokote-shakyo.jp/>

横手市社会福祉協議会では、ホームページを平成24年3月に開設いたしました。ホームページでは、当会の事業、サービス案内などの詳細な情報や、地域の皆様へのお知らせなどをタイムリーに掲載してまいります。ホームページを通して、社協についてさらに地域の皆様を知って頂ければ幸いです。皆様の声を反映したホームページ作りをめざしておりますので、ご意見やご要望をぜひお寄せ下さい。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388
 横手福祉センター TEL.0182-33-8668 FAX.0182-33-8778
 増田福祉センター TEL.0182-45-4848 FAX.0182-44-7867
 平鹿福祉センター TEL.0182-24-3283 FAX.0182-24-3286
 雄物川福祉センター TEL.0182-56-2072 FAX.0182-23-1817
 大森福祉センター TEL.0182-26-3274 FAX.0182-26-4547

十文字福祉センター TEL.0182-42-5858 FAX.0182-42-4577
 山内福祉センター TEL.0182-53-3009 FAX.0182-53-3024
 大雄福祉センター TEL.0182-52-3311 FAX.0182-52-3444
 特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.0182-38-7011 FAX.0182-38-7012
 特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.0182-22-4561 FAX.0182-22-3607
 特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.0182-42-2510 FAX.0182-42-2555

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号
 TEL0182-36-5377 FAX0182-36-5388 E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp
 この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

おもいやり 見えない大きな おくりもの